

第2回協議会だより 《南方部》

令和7年10月16日（木）10:00～11:50

【授業と保育の相互参観】 郡山市成田保育所



成田保育所では、どのクラスにおいても保育士との温かい関わりを通して信頼関係がしっかりと築かれており、一人一人の子どもの発達を丁寧に支援している姿が印象的でした。年長組は工作活動を中心に取り組んでいました。子どもたちはハサミを使った細かな作業や絵の具を使った表現活動に夢中になり、衣服の汚れも気にすることなく思い切り創作を楽しんでいました。活動中の表情はとても豊かで、主体的に取り組む子ども達の姿が際立っていました。子どもの自主性を育むため、子どもが自ら「やってみたい」と思えるような工夫が随所に見られ、子どもたちの意欲や好奇心を引き出していました。こうした保育の積み重ねが子どもたちの躍動感あふれる活動につながっていると強く感じました。

【協議会】

テーマ 幼保小の相互理解と円滑な接続の在り方について



- 今回の研修では、「子ども達の遊びや行動を10の姿から捉えることができるよう事前に「遊びの中での学び」について参観メモ（協議シート）を提供し、参加中印象に残った場面を記入したことを、協議会で意見交換をしました。
- ① 保育参観について
 - ・廃材を使い制作ができるコーナーがあり、年長児は様々な形の廃材を組み合わせ、自分のイメージを膨らませたり、友だちの制作物に刺激を受け、取り入れたりしながら、一人一人が意欲的に活動していました。
- ② 自発的な活動や遊びを通して育まれる資質・能力について
 - ・協議の内容を通して、協同性、言葉による伝え合い豊かな感性と表現が育む場面が多いと思います。
- ③ 気になる子の支援について
 - ・子どもが「やりたい」「遊びたい」と思うような環境構成、声かけが大切だと思います。

《参加者からのアンケート》

- ・保育士の方々がそれぞれに子どもたちを見取り、適切な指導をされている姿に感激しました。
- ・0歳児から5歳児までの保育を参観し、子どもの発達に合わせた環境設定、援助の仕方などを学び、保育についてより理解が深まりました。